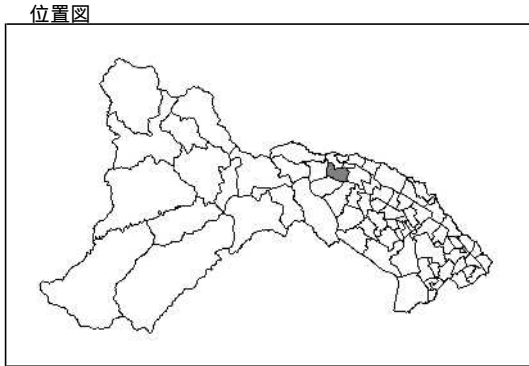


地区を構成する町丁
【緑区】下九沢、西橋本3丁目・4丁目、二本松1丁目～3丁目、橋本台3丁目・4丁目



地区自治会連合会名(自治会名)
橋本(二本松三丁目, 二本松町内会, 西橋本四丁目, わかば, 峡之原, 上松並), 大沢(九沢)

地区概況
台地(上段)にあり、中部、北部は主に住宅地、東部は工業用地である。南東部には広域避難場所である相模原北公園がある。

建物数・人口		区分	
建物	木造(昭和55年以前)	593 棟	
	木造(昭和56年以降)	1,941 棟	
	非木造(昭和55年以前)	129 棟	
	非木造(昭和56年以降)	542 棟	
	合計	3,205 棟	
人口	0～4歳	484 人	
	5～64歳	8,404 人	
	65歳以上	2,384 人	
	合計	11,272 人	

所見
・全体に整然とした区画で幅の狭い道路は少ない。
・富士山の大規模噴火時には2cm未満の降灰が予測されており、道路や鉄道の通行支障、停電などのおそれがある(風向きによってはより重大な被害のおそれもある)。

防災関連施設	
市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	
警察署	
消防署	
消防団詰所	二本松
病院等	
主な災害時要援護者施設	(仮称)ライブラリ橋本, 特別養護老人ホームポーナビル二本松, ななかまど
幼稚園、保育園	二本松保育園, 相模野幼稚園
学校、大学	二本松小学校
避難所	二本松小学校
洪水時避難所兼用	
洪水時避難所	
広域避難場所	相模原北公園
防災備蓄倉庫	相模原北公園, 二本松小学校
広域避難場所対応	
臨時ヘリポート	

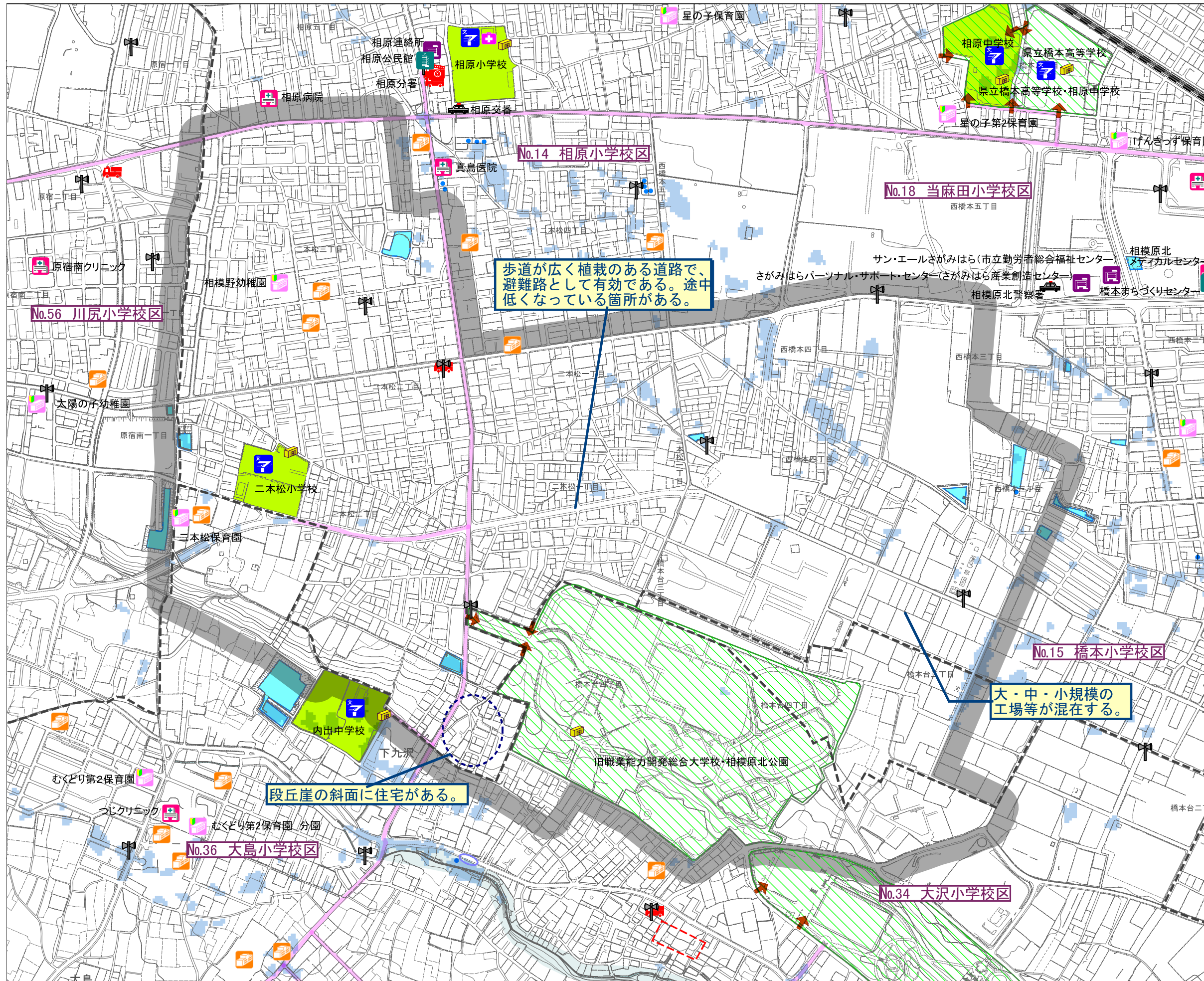
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	127 棟	3.9 %	127 棟	3.9 %	5 棟	0.1 %
建物焼失	33 棟	1.0 %	12 棟	0.4 %	0 棟	0.0 %
死者	8 人	0.1 %	8 人	0.1 %	0 人	0.0 %
閉込者	36 人	0.3 %	36 人	0.3 %	1 人	0.0 %
重傷者	11 人	0.1 %	11 人	0.1 %	1 人	0.0 %
軽傷者	71 人	0.6 %	71 人	0.6 %	12 人	0.1 %
避難所避難者(当日)	311 人	2.8 %	279 人	2.5 %	21 人	0.2 %
避難所避難者(1週間後)	747 人	6.6 %	724 人	6.4 %	193 人	1.7 %

災害危険度評価		近年の主な災害履歴
危険度評価項目	危険度が高い	平成 2年 9月30日 床下浸水1戸
水害		
土砂災害		
地震による地盤災害		
地震による建物被害、火災		



1:7500





歩道が広く植栽のある道路で、避難路として有効である。途中低くなっている箇所がある。

段丘崖の斜面に住宅がある。

大・中・小規模の工場等が混在する。

凡 例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例:浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

旧職業能力開発総合大学校は平成28年11月30日に指定の解除
相模原北公園は広域避難場所として継続

